

事業所名

うきうきこいろ組 児童発達支援

支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

31 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日がうきうき！子どもらしさと個の色を豊かに、そして個の彩りを豊かに・・・。 ・子どもたちが社会で自立して生きていくために必要な要素を導き出します。 						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのできる部分を伸ばし、それを認めながら「育つ意欲」を育て「暮らす楽しさ」を提供し、成人期の楽しい豊かな生活につなげる努力をする。 ・目の前の機能、能力にとらわれることなく、子どもの生活力の向上、将来の自立的生活に必要な能力の育成を様々な職種の共同作業を通じて行っていく。 						
営業時間		9 時	30 分	14 時	0 分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人 支 援	健康・生活	日常生活に必要な基本生活習慣の獲得などを目指します。また、身支度・排泄・食事など生活場面においてお子さんのペースに合わせた支援内容を検討しながら家族と情報共有を行います。発達段階に応じた支援を行い無理のない経験の積み上げを目指します。						
	運動・感覚	安心できる環境の中で様々な粗大運動あそびなどを体験します。運動遊びなどを通して体を動かす楽しさ心地よさを知ってもらうことを大切にします。また、姿勢保持や微細な動きなどを体験していく中で身体面の調整する力を学びます。感覚的な過敏さ、鈍さへにも配慮して様々な感覚を経験できる場とし、触覚、味覚、嗅覚、視覚、聴覚の五感をふんだんに味わったり、揺れたりスピード感などを味わえるプログラムの実施します。						
	認知・行動	見通しを持って活動に参加できる、また適切な行動ができるように支援します。聴覚的・視覚的な手がかりなど様々なツールを利用して自分の行動調整ができるように支援を行います。気持ちの切り替えなど、発達年齢に合わせた支援を行います。色や形、大小や長短、時間の概念、比較や分類など、玩具や教材、絵本などを使用してプログラムを実施します。						
	言語 コミュニケーション	お子さんが相手に伝えたい気持ちが何かを理解し、言葉もしくは言葉以外のツールを利用して積極的にコミュニケーションを取るようになります。子どもたちが安心してやりとりが楽しめる機会を増やし、成功体験の積み上げを行います。物と名称、行動と言葉、感情と言葉を一致できるプログラムや模倣遊び、リズム遊びなどを通して名詞や動詞、助詞などの言葉を習得を促すプログラムを実施します。						
	人間関係 社会性	安心できる大人や先生を存在を基盤としながら、小集団での関わりを通して他者と過ごすことへ楽しさ・充実感の経験します。また、友だちとの関わりを通して他者の存在への気づき、社会的な場面でのルールを理解し年齢に応じた社会性を学びます。						
家族支援		活動の様子など専用のアプリを用いて家族と情報共有に努めます。ペアレントトレーニングなど家族の学びの場の提供、きょうだい児への支援、専門職による相談、カウンセリングなどを行います。			移行支援		就学後の生活を見据え次の支援先などに引き継ぎを行います。また、お子さんの担当の相談支援専門員と連携し安心できる場所の決定、利用ができるようになります。	
地域支援・地域連携		地域の幼稚園、保育所、認定こども園へ必要に応じて相談、巡回などを行います。また、各市町村の保健センター等との連携を行います。			職員の質の向上		専門性の向上のため、研修会や勉強などを積極的に参加します。また、専門職と連携を行い、支援の質・向上に努めます。	
主な行事等		季節の行事、幼稚園の行事、地域住民や利用者を対象としたイベント						

事業所名

うきうきこいろ組 放課後等デイサービス

支援プログラム

作成日

2026 年

3 月

31 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日がうきうき！子どもらしさと個の色を豊かに、そして個の彩りを豊かに・・・。 ・子どもたちが社会で自立して生きていくために必要な要素を導き出します。 										
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのできる部分を伸ばし、それを認めながら「育つ意欲」を育て「暮らす楽しさ」を提供し、成人期の楽しい豊かな生活につなげる努力をする。 ・目の前の機能、能力にとらわれることなく、子どもの生活力の向上、将来の自立的な生活に必要な能力の育成を様々な職種の共同作業を通じて行って行く。 										
営業時間		15 9	時	0 30	分から	16 16	時	45 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容												
本人 支 援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日ごとのスケジュールを設定し、子どもたちが同じリズムで安心して過ごせるように配慮する ・基本的な生活習慣の大切さを振り返り、自分で日常生活を送れるように支援する ・個々の特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく提示する 										
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキットや遊具を通して、体の細かい所まで意識して動かす、先の行動を予測して動くプログラムの実施 ・ホールを活用し、鬼ごっこなど体を思いっきり動かす遊びの実施 ・友達との関りを通して体を動かすことに楽しみを感じ協調性や社会性を育てる環境の設定 										
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・色や形、大小や長短、時間の概念、比較や分類など、玩具や教材、絵本、図鑑等を使用し物をイメージする力を育てるプログラムを実施 ・友達や支援者との活動を通じて、自分のできることでできないことや自分の特性に気付き、自分で判断ができるように促していく ・成功体験を積み上げるようにし、具体的に認めることで自己肯定感を高める安定した人間関係を築けるよう援助する 										
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・集団遊びの中にことばを必要とする活動を取り入れ、友達とのコミュニケーションの取り方を学ぶ ・言葉で伝わらない時に自分も思っていることを伝える表現の仕方などを学ぶ ・集団遊びの中で自分の意見を言ったり、友達の意見を聞く中でコミュニケーションの大切さを学ぶ 										
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールのある遊びを通して、集団生活への参加やルールの理解、自分と他人の気持ち理解できるプログラムを実施 ・地域の人々との交流を通して様々な関りを体験し、状況にあわせた円滑な対人関係を身につけることができるよう支援する 										
家族支援		活動の様子など専用のアプリを用いて家族と情報共有に努める。ペアレントトレーニングなど家族の学びの場の提供、きょうだい児への支援、専門職による相談、カウンセリングなどを実施。				移行支援			進路について本人の意思決定を尊重し、実現できるようにする。			
地域支援・地域連携		地域の学校（小・中・高・特別支援）へ必要に応じて連携。また、通っている他の事業者があれば、情報共有を行う。				職員の質の向上			専門性の向上のため、研修会や勉強などを積極的に参加。また、専門職と連携を行い、支援の質・向上に努める			
主な行事等		季節の行事、幼稚園の行事、地域住民や利用者を対象としたイベント										